



国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

例会場 東京第一ホテル鶴岡 (鶴岡市錦町 2-10) 例会日 毎週火曜日 (12:30~13:30)

令和1年 10月8日(火) 第2897回 例会 (本年度第11回)

11月 12日(火)	ゲストスピーチ 荘銀タクト鶴岡 館長
11月 19日(火)	祝祭日休会
11月 24日(日)	第2ブロックIM&6クラブ合同例会
11月 26日(火)	振替休会



Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp ホームページ◎http://www.tsuruokarc.org/

会長挨拶

会長/菅原 成規

先週は日本国末端技術研究所の富樫所長から、ルービックフラットをご指導いただきました。家に帰ってからも家族と楽しめて、たまにあのような例会もとてもいいのかなと思いました。富樫所長もとても忙しい方で、樋渡プログラム委員長の人脈の広さに感謝いたします。

10月19日、20日山形市で地区大会が開催されます。鶴岡RCからは10名参加します。記念講演は中国から姫軍(ジージュン)氏をお招きしています。姫氏は元米山奨学生で、現在弁護士としてご活躍されています。姫氏のお話を聞けるということで楽しみにしていましたが、さらに、楽しいことがあります。元米山奨学生のマリエッタが、国家を独唱するという事です。本当に楽しみです。

話が変わりますが、日本の国家は「君が代」ですが、ラグビー日本代表が宮崎県で合宿があった時、君が代で歌われている「さざれ石」がある神社を参拝したという話がありました。びっくりしたのは、さざれ石って本当にあるのだということです。調べたら、宮崎県、岐阜県など全国に点在しているそうです。形も大きさも様々で、古くから神様の神霊が宿る石として、人々が大切に扱ってきた石だそうです。ラグビー日本代表は半分が外国人ですが、彼らの活躍を見ると誰も外国人だとは思っていないと思います。13日、テレビの前で応援しましょう。

11月11日の会津若松南RCのそば例会の参加、よろしくお祈りします。

幹事報告

幹事/榎本久静子

OGバナー事務所

日本のロータリー100周年記念バッチ

出席報告	会員数	30名
	出席	19名
	出席率	65.52%
	前々回確定出席率	89.66%

英語弁論大会入賞者スピーチ

「私はわたし」



鶴岡北高等学校 関本 詩音さん

日本には、「出る杭は、打たれる」ということわざがあるが、日本はできるだけ静かに目立たずに生きるのが美德という社会である。これは特に日本の中学生、高校生にもあてはまるのだ。私もこれまでできるだけ目立たないようにと自分に言い聞かせ、学校生活を送っていた。

私が10歳の時に、英会話のクラスに参加する機会があった。最初、私は黙ったままでいた。泣くこともあった。そんな時に、ニュージーランド出身の先生が私のそばに来て、微笑みながら声をかけてくれた。「あなたの思っていることを話して！英語で話そう！うまく話せなくてもいいんだよ。」彼は私の考えを尊重し、私の話にとっても真剣に耳を傾けてくれた。「あなたはあなたなんだよ。」私は彼と話すうちに自分の思いを言葉で表現することができるようになっていった。そして、ついに言うことができた。「私はわたし！」そして、英語を話すことから、楽しいだけではなく自由を実感することができた。

その英語の先生のおかげで、私は英語が好きになり、高校生になってからは様々なことに挑戦するようになった。毎日外国の人々と英語で話したり、英会話クラスにも参加した。そして、この夏はアメリカでのホームステイを経験した。この経験を通して、自分自身や日本文化についても多くのことに気づくことができた。ホームステイの準備のため、研修に参加したが、そこでは参加者の多くが小声で話し、先生の質問に息をひそめ、囁くという光景だった。電子辞書の翻訳機能に頼り、間違えることを恐れていた。

もちろん、正しい文法、正しい英語を使うことは大切である。しかし、それ以上に大切なことは、考えや

RI会長 マーク・ダニエル・マローニー 地区ガバナー 大久保 章宏

会長/菅原成規 副会長/富田喜美子 幹事/榎本久静子 会長エレクト/佐藤詩郎
会報委員会/小林健郎・阿蘇司朗・真島吉也・越智茂昭・高橋弘美・金井昌弥

事務局:山形県鶴岡市錦町2-68 鶴岡SSビル1F TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376

意見をしっかりと伝えようと努力することだ。真のコミュニケーションとは、文法やネイティブレベルの発音ではなく、意見や気持ちのやりとりであり、お互いのアイデンティティの共有なのだ。

私は日本の文化を誇りに思う。そして、私は日本人の謙虚さや優しさはすばらしいと思う。しかし、私達に必要なものは、個性の尊重、間違えることを恐れずに積極的に元気に行動することなのだ。私達はSNSを経て世界中の人々となつなげることができ、YouTubeでは様々な文化的背景を持った人々の考えを聞くことができる。もっと深いレベルで異文化を理解するためにこれらのツールを使うことは必要不可欠だ。

それらを効果的に使うために、情報を批判的に見ることも必要である。「私はわたし」「あなたはあなた」という事実に基づき行動し、お互いが自分自身の考えや思いを持つべきである。私たちは自分自身だけではなく、他の人の個性を認めることもしなければならない。

「私はわたし」。何年も前に先生が教えてくれたこの言葉は世界に通じる魔法の言葉なのかもしれない。

私たちの大切な時間

鶴岡南高等学校 高橋 愛子さん



過労死とは何だろう？私が今からその答えを教えよう。4年前、明るく、知的な若い女性が新社会人としての一年が終わるまでに、千時間以上の残業をした。そして、彼女は若くして亡くなってしまった。この事を「過労死」と呼ぶ。日本では、過労死は大きな問題となっている。しかし、私は、依然として変わっていないように思う。私が、中学二年生の時、アメリカにホームステイをした。文化の違いや現地の人が、仕事と家庭生活との関係についてどう考えているのかに注目していた。私のホストファザーは、医者だった。ときどき私にアメリカと日本の違いについて教えてくれた。

「日本人はグループ思考でアメリカ人は個人主義である。日本人は和を重んじ、思いやりの心を大切にす美徳がある。個人主義であるアメリカ人は、ときとして周りにいる人々のことを忘れ軽んじてしまうことがある。しかし個人主義である事の良いところは、他人が自分のことをどう思っているか気にせずに、物事を推し進めることができる。グループ思考は常に他の人の考えや行動を気かけなければならないこと、他の人のために行動しなければならないこともある。」

この話が私に大きな影響を与えた。私は、この社会背景であるからこそ、日本人は、遅くまで仕事をしてしまうと思った。

私の両親は教師である。毎日家でも遅くまで仕事をしている。私はもっと両親と話しがしたい。学校の事、勉強の事、友達との事。しかしその事が出来ない。

家族と過ごす時間はとても貴重な。また、両親は、睡眠時間が短く、とても疲れている。笑顔が見られない。私はもっと家族との時間を大切にしたい。大切な思い出を、遅くなる前に、創りたい。このように働くことは、働く人だけでなく、家族にも影響を与える。私達は時間を借りて生きている。私達は生きている間、この時間を大切にしなければいけない。そして、愛、幸せ、悲しみ、怒り、恐れに満ちた人生を送るべきだ。これらの感情全てが、私達を人間らしくさせてくれる。私達は仕事と私生活とのバランスが必要だ。だから、私は、将来仕事に就いたとき、友達や家族と過ごす時間を大切にしたいと思う。

私は、ときに残業も必要だと分かっている。しかし、私達は生活と仕事のバランスの取れた幸せを見つける必要がある。完璧な国や人はいない。日本人やアメリカ人もそうだ。本来の仕事を見直し、仕事の環境を変える必要がある。全ての人々は互いに、自分達の時間を大切にすべきだ。なぜなら人生は一回きりなのだから。もし、私達がこれらのことを達成できたなら、残業や過労死は徐々になくなっていき、私達1人1人が「生き生きと働ける社会」「能力を発揮できる社会」が実現できると思う。

私は今、あなたに1つの質問があります。あなたは自分の時間を大切にしていますか？

委員会報告

◆ゲスト

鶴岡南高校 高橋愛子さん 百瀬美奈子先生
鶴岡北高校 関本詩音さん 滝川美穂先生

◆ビジター

高橋直幹君 鶴岡東RC会長
富樫幸彌君 鶴岡東RCIM実行委員長

スマイル

- 阿部 純次君 関本詩音さん、高橋愛子さん英語弁論スピーチありがとうございます。
- 榎本久静子君 鶴岡東RC高橋会長にはゴルフでいつもお世話になっております。関本(鶴岡北)さん、高橋(鶴岡南)さんすばらしいスピーチありがとうございます。
- 高橋 直幹君 改めまして11/24のIM合同例会多数の出席を心よりお待ちしております。
- 越智 茂昭君 関本さん、高橋さん有り難うございました。
- 佐藤 友行君 10/4松夫理事長の茅原子供園の起工式がありました。樋渡先生、金井さんもお出席いただきありがとうございます。来年3月完成に向けて会社あげてがんばりたいと思います。
- 富樫 松夫君 10月4日道形保育園(茅原保育園、仮称)で無事起工式が終り、来年4月開園に向けて頑張っており、荘内日報に記事のりしましたので。
- 富田喜美子君 北高校の滝川先生、生徒の関本さん、南高校の百瀬先生、生徒の高橋さん、今日は例会での英語スピーチを有りがとうございました。御苦勞様でした。
- 鈴木 幸二君 鶴岡北高校の関本さん、鶴岡南高校の高橋さん、すばらしいスピーチありがとうございます。
- 佐藤 詩郎君 英語弁論スピーチを聞き毎年思う、英語話せてうらやましい。今の時代英語がグローバルスタンダードなので、岡本詩音さん、高橋愛子さんの活躍に期待します。
- 菅原 成規君 北高、関本さん、南高、高橋さんスピーチありがとうございます。